

令和元年度

教育委員会点検・評価報告書
(対象:平成30年度事業)

令和元年10月
田布施町教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成30年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施について

(1)対象事業

平成30年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「平成30年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

(2)評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

(評価委員)

西光 俊雄 (元町教育次長兼学校教育課長)
高橋 邦子 (元町教育委員)
田中恵美子 (元町小学校長)

(評価基準)

- A: 目的に対し、順調に事業が達成できた。
- B: 事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。
- C: 目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。
- D: 事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

4 学識経験者の知見について

(1)評価全般について

田布施町教育委員会は、学校教育課・社会教育課ともに未来を見据えて積極的な施策に取り組まれているが、自然災害の重大化・多発化している今日においては、何よりも安全対策が最優先するものと思われる。学校・公民館等の公共施設の老朽化に伴う工事は、予算の問題が大きく関わっており、継続して取り組んでいただきたい。また、課題となっていた小学校の空調が整備されることは、安心して学習できる環境となり評価できる。

小・中学校の学力の向上に対する成果が出ている中、スポーツ、美術などの分野においても県下有数の実績を上げられていることは評価でき、先生方の努力の賜物と思われる。

不登校については、一人ひとりの心に寄り添った支援が必要になり、関係者を含め熱心

に対応している。さらなる連携や支援体制を強化し継続的な働きかけを通し、不登校の子供たちが安心して学習できる体制づくりに努力していただきたい。

地域協育ネット推進事業での放課後子ども教室は、すべての小学校で開催されることとなり、地域と学校の一層の連携・協働を期待している。

(2) 施策、事業ごとの知見

【学校教育の充実】

No.3 小学校管理事業

小学校の校舎は全体的に老朽化が進んでいるが、計画的な修繕によりおおむね安全で安心できる良好な環境を確保されていることは、大いに評価できる。

No.4・6 小・中学校管理事業

学校教育の充実は、より一層の研修や努力を図るためにも、設備整備の一層の充実が必要と思われる。ICTを活用した学習が日常的に行われるようになっている現在、ハード面の整備を計画的に進め、効果的に駆使できる教師の指導力向上を図る研修等一層の努力を期待する。また、国語力(読解力)向上に向けて、良書に親しむことは大変大切で、今まで以上に環境整備等の充実が望まれる。

No.5 中学校管理事業

校舎の老朽化は、生徒・教職員の安全にも係る問題で、自然災害も増している中、積極的に改築事業を進めていただきたい。

No.9 教員補助者設置事業

教員補助者の設置は、個別に支援の必要な児童への対応、及び担任が子供と向き合う時間の確保ができるなど、成果を挙げている。

No.12 生徒指導推進事業

いじめや不登校は本町にとっても課題であり、児童生徒へのきめ細かい丁寧な対応が一層求められる。心の教育は、今後ますます大切となり一人ひとりの将来のためにも支援を充実させていただきたい。さらに、いじめ・不登校の未然防止に向けた組織的・継続的な取組を引き続き強化してほしい。

No.15 特別支援教育推進事業

5歳児発達相談事業等、早い段階での就学に向けた相談の充実で、保護者の特別支援教育への理解や対応が進んでいる。このことは、入学後の学校での適切な指導につながっており、大いに評価できる。より充実した教育を受けられるよう、今後も継続・充実を図っていただきたい。

【社会教育施策の充実】

No.20 地域教育ネット推進事業

地域と学校を結ぶ統括コーディネーターも2年目を迎え、学習支援ボランティアバンクでは、小・中学校からの要請に応じて授業等のサポートなどの支援活動によく努めている。

放課後子ども教室は、各地域の指導者・支援員が熱心に関わって指導しており、成果をあげている。平成30年度新たに「城南こころ教室」を開講し、令和元年度には麻郷小学校で「成器塾」が予定されているなど、児童生徒の体験活動の広がりや地域の活性化を期待する。

【豊かな文化の継承と創造】

No.25 公民館運営事業

各公民館とも、地域の拠点となり、行事・活動を積極的に行っている。公民館の運営については適切に運営されており、地域住民の参加による環境整備や生涯学習の推進にも貢献している。高齢者がより有意義な人生を送れるよう、また社会と関われるよう公民館講座などの充実にも努めていただきたい。

No.26 公民館施設管理事業

各公民館施設は老朽化が進み、施設改修などの対応策が必要な状況にある。特に中央公民館は、築後50年が経過しており、雨漏りなども応急措置で対応しているが、耐震補強工事も未実施であり、継続して町に要望してほしい。

【スポーツ・レクリエーションの振興】

No.32 我がまちスポーツ推進事業

ウォーキングを「我がまちスポーツ」として行っており、スポーツの地域交流の促進・活性化につながっている。魅力発見ウォーキングは、多くの参加者が町内のウォーキングマップを活用し、町内外の自然や文化に触れるなど、成果が上がっている。

5 今後の取組について

事業の点検及び評価の結果を十分に精査し、効果的・効率的な教育行政が展開できるよう、学識経験者の知見をふまえ、事業の見直し、改善を進めます。

平成30年度策定した田布施町教育大綱、田布施町教育基本計画に基づき、「事業の点検・評価表」の内容について検討を進めてまいります。

学校施設の老朽化に伴う改修・修繕については、現場の実態を把握しながら安全で安心できる教育環境の向上に向け、計画的に対応を行ってまいります。また、今回の学習指導要領の趣旨に則り、新しい時代に必要となる資質・能力の育成や情報化への対応、特に情報を読み解く力や、それにより新たな価値を創生する力、そして学びを人生や社会に生かそうとする児童生徒の育成を図ってまいります。

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	705	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	9,413	A	
3	小学校管理事業	18,162	A	
4	小学校教育振興事業	3,389	B	
5	中学校管理事業	16,092	A	
6	中学校教育振興事業	3,979	B	
7	保健関係事業	3,926	A	
8	就学援助事業	12,480	A	
9	教員補助者設置事業	6,251	A	
10	幼稚園就園奨励費事業及び多子世帯保育料等軽減事業	14,173	A	
11	幼児教育推進事業	—	A	
12	生徒指導推進事業	1,660	B	
13	学力向上推進事業	8,266	A	
14	体力向上推進事業	—	A	
15	特別支援教育推進事業	—	A	
16	キャリア教育推進事業	—	B	
17	コミュニティ・スクール(CS)推進事業	250	B	
18	学校給食センター運営事業	59,064	A	

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
19	生きがい教室開催事業	312	A	社会教育課
20	地域協育ネット推進事業	1,924	B	
21	成人式開催事業	455	A	
22	人権教育推進事業	440	A	
23	青少年の健全育成事業	700	A	
24	地域公民館まつり開催事業	430	B	
25	公民館運営事業	19,175	A	
26	公民館施設管理事業	23,503	B	
27	図書館管理運営事業	14,372	A	
28	郷土館管理運営事業	7,773	B	
29	埋蔵文化財調査事業	48,678	B	
30	スポーツ推進体制強化事業	473	B	
31	生涯スポーツ推進事業	2,808	B	
32	我がまちスポーツ推進事業	—	A	
33	スポーツセンター管理運営事業	22,082	B	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教育委員会運営事業		
事業の概要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議及び協議会:6回 ・総合教育会議開催:2回 ・教育委員学校訪問:11月5日(小学校4校、中学校1校、給食センター) ・教育委員研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ①山口県市町教育委員会委員研修会:4月17日(山口市) ②柳井地域教育委員等研修会:11月27日(田布施町・サリジエ) ③山口県教育委員会協議会・山口県教育長会合同定例会:3月28日(山口市) ・その他教育関係行事(小中学校入学式・卒業式・運動会等)への出席 委員報酬[690,800円]、評価委員報酬[15,000円]		
事業の経費	705千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を年2回開催し、各学校の現状や施設整備について町長部局との連携を図った。		
評価	A		

No.2

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	スクールバス運行事業		
事業の概要	遠距離通学となる児童生徒の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台を交通業者に委託		
事業の実績	対象児童生徒の登下校及び総合的な学習の時間や中学校部活動に利用 <ul style="list-style-type: none"> ・麻郷小学校 1台(対象人数:17人) ・田布施西小学校 1台(対象人数:5人) ・東田布施小学校、田布施中学校 1台(対象人数:8人) ・総合的な学習の時間(42回)、部活動利用(15回) 運行委託料[7,659,884円]、修繕料[347,252円] 消耗品[50,790円]、燃料代[851,776円]、保険料[46,110円] 車検[376,748円]、重量税[80,700円]		
事業の経費	9,413千円		
事業の成果と課題	遠距離通学の児童生徒の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。課題であったバスの老朽化による購入については、令和元年度に予算化を行っている。今後もスクールバスの適正な運用管理を慎重に検討を行う必要がある。		
評価	A		

No.3

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	小学校管理事業		
事業の概要	所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。		

事業の実績	・光熱水費	8,403 千円	
	・点検管理業務等の委託 12 件	4,730 千円	
	内訳		H30 (円)
	消防設備点検	435,240	
	電気保安管理	418,608	
	浄化槽管理	1,393,878	
	清掃業務	1,427,560	
	プールろ過器保守管理	138,240	
	貯水槽清掃	45,576	
	樹木剪定	216,000	
	下水中継ポンプ保守管理	181,440	
	遊具点検	102,600	
	シンクラシステム保守	281,016	
	機器保守保守管理	89,386	
合計	4,729,544		
・各小学校修繕費	3,590 千円		
・城南小学校洋式便器取替工事他	856 千円		
・学校用備品 583 千円 ([一般備品 480,021 円]+[その他備品 102,708 円])			
事業の経費	18,162 千円		
事業の成果と課題	<p>児童の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。</p> <p>城南小学校で和式便器の使用が難しい児童のため、一部トイレの洋式便器取替工事を実施し改善された。</p> <p>懸案事項である、小学校空調設備設置工事(平成 30 年度補助事業)は繰り越し事業により、令和元年度に整備を行う。</p>		
評価	A		

No.4

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	小学校教育振興事業		
事業の概要	児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金		
事業の実績	・総合的な学習における講師謝金	31 千円	
	・バス・渡船借り上げ料	295 千円	
	(陸上記録会、音楽会、総合的な学習)		
	・教材備品	1,004 千円	
	・理科教育設備整備費	507 千円	
	・図書購入費	747 千円	
各種負担金、補助金	805 千円		
内訳		H30 (円)	
教職員研修	150,000		
県郡校長会	127,600		
県郡教頭会	112,500		
県郡教研究会	54,600		

	<table border="1"> <tr> <td>小学体育連盟</td> <td>5,240</td> </tr> <tr> <td>養護教諭研修会</td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td>事務職員会</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>学校保健連合会</td> <td>16,040</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td>58,692</td> </tr> <tr> <td>山口ゆめ花博</td> <td>244,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>804,672</td> </tr> </table>	小学体育連盟	5,240	養護教諭研修会	16,000	事務職員会	20,000	学校保健連合会	16,040	修学旅行	58,692	山口ゆめ花博	244,000	合 計	804,672
小学体育連盟	5,240														
養護教諭研修会	16,000														
事務職員会	20,000														
学校保健連合会	16,040														
修学旅行	58,692														
山口ゆめ花博	244,000														
合 計	804,672														
事業の経費	3,389 千円														
事業の成果と課題	<p>毎年、図書蔵書の充実を進めている。各学校についても理科教育設備整備事業により教材の充実を図った。</p> <p>また、令和2年度以降にICT整備を進めていくため、整備計画を定めて計画的に備品等の整備を行う。</p>														
評 価	B														

No.5

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																						
事業の名称	中学校管理事業																								
事業の概要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。																								
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 7,066 千円 ・点検管理業務等の委託9件 4,568 千円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H30 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防設備点検</td> <td>426,600</td> </tr> <tr> <td>電気保安管理</td> <td>233,280</td> </tr> <tr> <td>清掃業務</td> <td>986,833</td> </tr> <tr> <td>プールろ過器保守</td> <td>34,560</td> </tr> <tr> <td>貯水槽清掃</td> <td>120,204</td> </tr> <tr> <td>樹木剪定</td> <td>507,600</td> </tr> <tr> <td>遊具点検</td> <td>16,200</td> </tr> <tr> <td>ビル管理</td> <td>2,170,800</td> </tr> <tr> <td>シンクシステム保守</td> <td>71,928</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,568,005</td> </tr> </tbody> </table> ・修繕費 1,257 千円 ・工事費 2,983 千円 <ul style="list-style-type: none"> 田布施中学校特別支援教室整備工事(平成 29 年度繰越) 1,794,960 円 田布施中学校事務室空調設備取替工事 1,188,000 円 ・学校用備品 218 千円 			内訳	H30 (円)	消防設備点検	426,600	電気保安管理	233,280	清掃業務	986,833	プールろ過器保守	34,560	貯水槽清掃	120,204	樹木剪定	507,600	遊具点検	16,200	ビル管理	2,170,800	シンクシステム保守	71,928	合計	4,568,005
内訳	H30 (円)																								
消防設備点検	426,600																								
電気保安管理	233,280																								
清掃業務	986,833																								
プールろ過器保守	34,560																								
貯水槽清掃	120,204																								
樹木剪定	507,600																								
遊具点検	16,200																								
ビル管理	2,170,800																								
シンクシステム保守	71,928																								
合計	4,568,005																								
事業の経費	16,092 千円																								
事業の成果と課題	<p>生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。</p> <p>中学校普通教室は前年度空調設備が設置され環境整備が整ったが、学級編成で教室(特別支援教室)が必要となり平成 29 年繰越事業で、教室の整備を行った。</p> <p>大規模改修工事(老朽)は、令和元年度補助事業が採択され、設計・工事を行う。また、引き続き、大規模改修工事(Ⅱ期)を計画しており、国の予算を注視しながら補正予算も含めて事業を進める必要がある。</p>																								

評価	A
----	---

No.6

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																																
事業の名称	中学校教育振興事業																																		
事業の概要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金																																		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習における講師謝金 11千円 ・バス借上げ料 89千円 吹奏楽部コンクール出場(1台) ・教材備品 339千円 ・理科教育設備整備費 190千円 ・図書購入費 498千円 ・部活動備品 367千円 																																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種負担金、補助金 2,485千円 																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内訳</th> <th style="text-align: center;">H30 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務職員研修会</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>養護教諭研修会</td> <td style="text-align: right;">4,000</td> </tr> <tr> <td>英語暗唱弁論大会 地区実行委員会</td> <td style="text-align: right;">25,000</td> </tr> <tr> <td>県郡校長会</td> <td style="text-align: right;">34,000</td> </tr> <tr> <td>県郡教頭会</td> <td style="text-align: right;">22,500</td> </tr> <tr> <td>県郡教育研究会</td> <td style="text-align: right;">51,000</td> </tr> <tr> <td>中学体育連盟</td> <td style="text-align: right;">285,420</td> </tr> <tr> <td>学校保健連合会</td> <td style="text-align: right;">7,980</td> </tr> <tr> <td>中学文化連盟</td> <td style="text-align: right;">42,600</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td style="text-align: right;">116,789</td> </tr> <tr> <td>部活動指導</td> <td style="text-align: right;">360,000</td> </tr> <tr> <td>集団宿泊</td> <td style="text-align: right;">881,280</td> </tr> <tr> <td>県大会出場助成</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> </tr> <tr> <td>教職員研修会</td> <td style="text-align: right;">144,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">2,484,569</td> </tr> </tbody> </table>			内訳	H30 (円)	事務職員研修会	10,000	養護教諭研修会	4,000	英語暗唱弁論大会 地区実行委員会	25,000	県郡校長会	34,000	県郡教頭会	22,500	県郡教育研究会	51,000	中学体育連盟	285,420	学校保健連合会	7,980	中学文化連盟	42,600	修学旅行	116,789	部活動指導	360,000	集団宿泊	881,280	県大会出場助成	500,000	教職員研修会	144,000	合計	2,484,569
	内訳	H30 (円)																																	
	事務職員研修会	10,000																																	
	養護教諭研修会	4,000																																	
	英語暗唱弁論大会 地区実行委員会	25,000																																	
	県郡校長会	34,000																																	
	県郡教頭会	22,500																																	
	県郡教育研究会	51,000																																	
	中学体育連盟	285,420																																	
	学校保健連合会	7,980																																	
	中学文化連盟	42,600																																	
	修学旅行	116,789																																	
	部活動指導	360,000																																	
	集団宿泊	881,280																																	
県大会出場助成	500,000																																		
教職員研修会	144,000																																		
合計	2,484,569																																		
事業の経費	3,979千円																																		
事業の成果と課題	<p>毎年、図書蔵書の充実を進めている。</p> <p>また、理科教育設備整備事業により教材の充実を図った。令和2年度以降にICT整備を進めていくため、整備計画を定めて計画的に備品等の整備を行う。</p> <p>部活動備品については、部活動に支障が起きないよう、年次的、計画的に更新をしている。</p>																																		
評価	B																																		

No.7

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		
事業の概要	学校保健法に基づく小中学校児童生徒や教職員の各種の検診等		

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員健康診断(基本検診) 486,150 円 ・教職員健康診断(胃検診) 251,992 円 ・教職員健康診断(結核検診) 82,554 円 ・児童生徒心臓検診 809,790 円 (小1年・4年、中1年) ・就学時健康診断 556,200 円 ・児童生徒健康管理 1,740,100 円
事業の経費	3,926 千円
事業の成果と課題	児童生徒や教職員の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な対応をしている。また、町内での受診が難しい場合、近隣の教育委員会と調整を図りながら、未受診がないように実施している。
評価	A

No.8

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	就学援助事業		
事業の概要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 学用品費 77 人[1,498 千円]医療費 5 人[39 千円]給食費 76 人[3,551 千円] 新入学準備金 11 人[446 千円] ・中学校 学用品費 64 人[3,063 千円]医療費 1 人[6 千円]給食費 64 人[3,166 千円] 新入学準備金 15 人[711 千円] 		
事業の経費	12,480 千円		
事業の成果と課題	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、適正に運営している。H29 年より新入学児童生徒に、入学準備金を 3 月に支給し、より充実した援助を行った。		
評価	A		

No.9

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教員補助者設置事業		
事業の概要	特別な教育的支援を必要とする児童の、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・配置校及び人数 麻郷小学校 2名 田布施西小学校 2名 東田布施小学校 2名 城南小学校 2名 <li style="text-align: right;">計 8名 		
事業の経費	6,251千円		
事業の成果と課題	特別な教育的支援を必要とする児童に対して、より良い学習環境を提供するため、教員補助者を各小学校に2名配置している。よりきめ細かな指導を行うため、継続していく必要がある。		
評価	A		

No.10

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼稚園就園奨励費事業及び多子世帯保育料等軽減事業		
事業の概要	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料について、その一部を補助する。この対象者で18歳未満の者のうち年長者から3人目の園児がいる世帯に対して補助金を支給する。		
事業の実績	平成30年度は町内在住の園児113人を対象に保育料等の一部を補助した。また、多子世帯の対象にあたる、8人に補助した。		
事業の経費	14,020千円(幼稚園就園奨励費) 153千円(多子世帯保育料)		
事業の成果と課題	保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の全額又は一部を補助することにより、保護者負担軽減の支援を行った。本事業は令和元年度9月末で終了し、「幼児教育・保育の無償化」に移行され新しい事業となり、より充実した援助を行っていく。		
評価	A		

No.11

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼児教育推進事業		
事業の概要	幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連携会議の開催(年3回) ・5歳児発達相談会での就学に関する相談、助言 ・就学時健康診断の実施 ・保健師と連携した就学に係る幼保園訪問 ・小中教員による幼保園訪問の開催 		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	幼保小中連携会議を3回実施し、基本的な生活習慣の現状把握と指導助言を実施した。また、小中教員や保健師等と連携した幼保園への訪問や、幼保園と小中学校教員による合同研修を実施し、情報の共有や連携を図った。		
評価	A		

No.12

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	生徒指導推進事業		
事業の概要	児童生徒が互いの心身を大切に尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立、また、いじめや不登校への早期発見・早期対応により、個に応じたきめ細かな支援体制を確立する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール・カウンセラー(SC)、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)の積極的な活用(定期的・臨時的相談、訪問含む) ・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実 ・GAP調査(児童生徒理解のための受容感プロファイリングツールとして活用している) 		

	<p>1名増員の2名体制になったことにより、学校の支援、指導がきめ細やかにできるようになった。</p> <p>授業改善では、学校訪問や授業公開等を機会に「田布施版授業モデル」の活用の徹底を図ってきた。また、町学力向上担当者会議を年3回開催し、学力向上担当が「全国学力・学習状況調査」や「県学力定着状況確認問題」の結果分析や共通取組事項を協議・確認している。「学力向上振り返りシート」による課題克服への取組も共有している。さらに、本町の課題解決に直結する重点取組事項4点(①家庭学習の充実②読書活動の推進③「授業モデル」の活用④「学力向上振り返りシート」の活用)を示し、確実な検証改善サイクルの実施及び来年度から実施される「小中連携授業力向上実践研究」の実践を通して、児童生徒一人ひとりが成長を実感できる授業力の向上をめざしていきたい。</p> <p>町共通取組による実施を継続したい。</p> <p>今後の課題の一つとして、コミュニティ・スクールの仕組みや関係機関との連携による学習支援や放課後の充実に向けた取組を進めていきたい。</p>
評 価	A

No.14

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	体力向上推進事業		
事業の概要	<p>体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導 ・町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝競走大会への参加 ・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言 ・スポーツまつりなどへの積極的参加の指導 		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>各学校で「体力向上プログラム」を作成し、始業前や業間体育、昼休み、放課後等を利用して体力向上に取り組んだ。町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝への参加のための練習により、全校あげて体力向上への取組を行った。体力テストに向けての正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、成果が見られた。</p> <p>今後、県トップレベルを維持していくために、体力面での課題である投力・握力に重点をおいた指導の工夫や、日常的な運動習慣化の工夫が必要と思われる。</p>		
評 価	A		

No.15

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	特別支援教育推進事業		
事業の概要	<p>児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・町教育支援委員会の開催 ・町校内コーディネーター研修会の開催 ・町幼保小中連携会議の開催(年3回) ・就学に係る幼・保育園訪問、相談会の実施 		

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断の実施と結果の通知 ・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの連携 ・各学校における特別支援学級等設置状況 麻郷小学校 : 自閉症・情緒障害、通級指導教室 田布施西小学校: 自閉症・情緒障害、知的障害 東田布施小学校: 自閉症・情緒障害、知的障害 城南小学校 : 病弱、知的障害 田布施中学校 : 自閉症・情緒障害、知的障害、難聴、通級指導教室
事業の経費	一 千円
事業の成果と課題	<p>幼保小中連携会議により成果と課題の共有化を図り、田布施町の教育のあり方について共通認識した。</p> <p>保健センターと情報の共有や連携を強化するため、5歳児発達相談に参加し、できるだけ早い段階での就学に向けた相談や、関係機関との連携を図った。</p> <p>また、「身体に関する結果通知」に加え、「知的発達検査の結果」についても通知するように改善し、就学前の相談体制の構築に努めた。</p> <p>課題としては、各学校の校内コーディネーターの役割の重要性や学校全体で行われるべき個々の児童・生徒に適した指導や支援の方法等について研修する必要がある。</p>
評価	A

No.16

施策名	ふるさと就労に向けた高校・大学との連携	担当課	学校教育課
事業の名称	キャリア教育推進事業		
事業の概要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導 ・1/2成人式、志教育の奨励 ・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言 		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>キャリア教育に対して、社会見学や職場訪問、職場体験が、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では、志教育や栄光の旗頭彰式が行われている。</p> <p>「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実行するよう助言した。特に中学校に関しては、この式を立派な立志と捉えている。将来の夢や目標に対して決意を堅持する場を毎年設定していくことが必要である。</p> <p>今後は、保護者や地域と連携した1/2成人式や、中学校については地元企業を対象とした職場体験の充実を図り、地元のよさをさらに気付かせる必要がある。</p>		
評価	B		

No. 17

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	コミュニティ・スクール(CS)推進事業		
事業の概要	学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校支援や子供の育成に努める。		

事業の実績	[麻郷小 4回] [田布施西小 4回] [東田布施小 4回] [城南小 4回] [田布施中 4回]		
	<table border="1"> <tr> <td>学校運営協議会</td> <td>50,000円×5校=250,000円</td> </tr> </table>	学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円
学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円		
事業の経費	250千円		
事業の成果と課題	<p>H27年度から中学校、H28年度に小学校でコミュニティ・スクール(CS)が始まり、組織としての運営も軌道にのり、地域との繋がりもできてきた。その中でCS委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールが目指す方向性について少しずつではあるが実践に向けて進み始めている。</p> <p>今後も、CS合同委員会(学校小中連携部会と地域協育ネット部会)の開催を始め、小中一貫の教育推進に向け、学校・家庭・地域・行政等社会総がかりでの学校地域協働活動を進めていきたい。</p>		
評価	B		

No.18

施策名	学校給食センターの効率的な運用	担当課	給食センター
事業の名称	学校給食センター運営事業		
事業の概要	<p>成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全で美味しくバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。</p> <p>また、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、「食べること」をとおして自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。</p> <p>児童生徒が生涯にわたり健康で過ごすために、自己管理能力を身に付けられる、多様で豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 給食対象校 小中学校 5校 年間給食回数 196日 年間給食 237,488食 給食費収入額 62,678,000円 米飯 週4回 パン 週1回 地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 89.5% 各小学校への学校給食巡回訪問 30回 		
事業の経費	59,064千円		
事業の成果と課題	<p>食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残食率が低下している。今後もこの取組を継続していく。</p> <p>食中毒の発生や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底する。</p> <p>就学時に児童が安心して学校給食を食べることができるよう、町内6園の年長園児を対象にした給食試食会を実施した。</p> <p>老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。</p> <p>現在、町職員(調理員)が3人である。3年後には町職員が1人となるため、シフト制パートを主体とした運営が円滑にできるよう検討していく。</p>		
評価	A		

事業の点検評価票(社会教育)

No.19

施策名	社会教育の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	生きがい教室開催事業		
事業の概要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、高齢者の生きがいづくりを図っている。各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、定期的(月1回程度)に生きがい教室を開催する。(講座運営費 年1,500円を徴収)		
事業の実績	【修了証書授与者】 城南公民館29人、西田布施公民館52人、東田布施公民館42人、麻郷公民館30人、麻里府公民館39人 合計 192人 (経費内訳: 講師謝金、消耗品費等)		
事業の経費	312千円		
事業の成果と課題	各地域の公民館生きがい教室とも、30人から50人程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取り組んでいる。内容は、防災・防犯、健康に関することや、小・中学生とのふれあいの会、研修旅行など多岐にわたり、各公民館で高齢者の生きがいづくり、生涯学習の場として特色ある取組活動がされている。		
評価	A		

No.20

施策名	社会教育の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	地域協育ネット推進事業		
事業の概要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室事業の企画・運営を支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室(8教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「たぶせキッズ教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」、平成30年度新たに「城南こころ教室」を開講 ・CS・地域協育ネット合同研修会(2回) 中央公民館にて講義(12月15日)、熟議(8月23日) ・家庭教育支援推進事業 ・オープンスクール事業 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額 1,150千円) (経費内訳: 賃金、講師謝金、消耗品費、通信運搬費等) 		
事業の経費	1,924 千円		
事業の成果と課題	<p>各地域の放課後子ども教室の指導者・支援員が熱心に関わって指導している。また、地域の方と子どもたちが同じ活動に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育的効果はもとより、地域の活性化にも大きく寄与している。</p> <p>課題としては、全小学校区での放課後子ども教室の開催については、平成30年度から「城南こころ教室」を開催、令和元年度から麻郷小学校で「成器塾」を予定している。</p> <p>また、学習支援ボランティアバンクは、小・中学校からの応援要請に応じて、登録者が日常の授業等に入り、サポートするなどの支援活動に努めている。</p> <p>29年度から、統括コーディネーター1名を配置し、地域と学校の連携・協働を推進している。</p>		
評価	B		

No.21

施 策 名	社会教育の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	成人式開催事業		
事業の概要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までの出生者。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式行事 開催日時 平成31年1月3日13:00～ 会場 西田布施公民館 対象者 146人 (H29 126人) 出席者 105人 (H29 96人) (経費内訳: 賞賜金、消耗品費、印刷製本費、食糧費等) 		
事業の経費	455千円		
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が自主的に、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を協議して、充実した内容の成人式を実施している。		
評 価	A		

No.22

施 策 名	社会教育の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	人権教育推進事業		
事業の概要	田布施町人権教育推進協議会が中心となって、人権教育講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載などの活動により、啓蒙啓発に努め、町ぐるみの人権学習を推進する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育講座開設事業 人権教育学習講座(中央公民館、参加者 延 152人) 10月 4日「山口県及び田布施町の人権教育の取組」 嬉 泰明先生・社会教育課職員 10月11日「気付こう人権」～男女共同参画社会って何じゃろう?～ 銭谷忠義先生 10月18日「特別支援教育と子どもの人権」村藤一成先生 ・人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約200人) 11月24日「人生はいつも青空」 大谷泰彦 先生 県事業「市町人権教育促進事業」 人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 130千円) ・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載(年6回) (経費内訳: 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等) 		
事業の経費	440千円		
事業の成果と課題	<p>人権教育学習講座は、テーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会は、夏休み中に児童生徒の作文・詩・スローガンを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。</p> <p>課題としては、出席者が社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定団体の人に限られるため、広く町民への周知、啓発が必要である。</p>		
評 価	A		

No.23

施策名	社会教育の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	青少年の健全育成事業		
事業の概要	青少年健全育成町民会議と連携し、「家庭充実の日」運動の普及、家庭教育に関する学習機会や相談体制の充実を図り、家庭教育力の向上を目指していく。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・田布施町青少年健全育成町民会議 事業としては、機関紙の発行、標語等の立看板の管理、中学生の交通安全反射ベスト購入補助、小学生や保育園児・幼稚園児へのあいさつバッジ配付、街頭補導活動などや体験活動事業として、8月にカヌー教室を実施した。 ・地域協育ネット推進事業と連携し、家庭教育支援推進事業を推進。 ・地域協育ネット推進事業と連携し、オープンスクール事業を推進。 (県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」) 		
事業の経費	700千円(経費内訳:補助金※町民会議への補助金)		
事業の成果と課題	平成30年度から家庭教育推進事業として、子育てにおける悩みや不安を抱えている保護者を対象とした「家庭教育支援チーム」を8名で構成し、児童支援、子育て支援、教育用品シェアリング、子育てカフェを開催した。また、オープンスクール事業として、小1プロブレムの解消をめざし、各入学予定小学校で授業参観、給食試食、小学生とのふれあい活動を実施した。		
評価	A		

No.24

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																					
事業の名称	地域公民館まつり開催事業																							
事業の概要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。																							
事業の実績	<p>○開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>時期</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田布施町文化展(中央公)</td> <td>10月27日～28日</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>城南公民館まつり</td> <td>11月 3日</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>西田布施文化祭</td> <td>11月11日</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館まつり</td> <td>11月18日</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館まつり</td> <td>11月 4日</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>麻里府文化展</td> <td>11月11日</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>(経費内訳:補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金)</p>			区分	時期	参加者数	田布施町文化展(中央公)	10月27日～28日	85	城南公民館まつり	11月 3日	850	西田布施文化祭	11月11日	800	東田布施公民館まつり	11月18日	600	麻郷公民館まつり	11月 4日	1,000	麻里府文化展	11月11日	450
区分	時期	参加者数																						
田布施町文化展(中央公)	10月27日～28日	85																						
城南公民館まつり	11月 3日	850																						
西田布施文化祭	11月11日	800																						
東田布施公民館まつり	11月18日	600																						
麻郷公民館まつり	11月 4日	1,000																						
麻里府文化展	11月11日	450																						
事業の経費	430千円																							
事業の成果と課題	各公民館において地域住民の協力で開催している。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ機会となっている。毎年、多数の協力者が参加し、地域住民のふれあいの場となり、地域の活性化に貢献している。課題としては、高齢化が進む中で、若い後継者が育っていない状況にある。																							
評価	B																							

No.25

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	公民館運営事業		
事 業 の 概 要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。		
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館 (施設利用状況) 823件、8,719人(H29 1,017件、9,315人) ・城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月) (施設利用状況) 625件、8,317人(H29 663件、10,564人) ・西田布施公民館、子ども料理教室(8月)、桜まつり(3月) (施設利用状況) 1,851件、31,730人(H29 1,816件、30,574人) ・東田布施公民館 球技大会(5月)、コスモスまつり(10月)、子ども料理教室(6月、2月) (施設利用状況) 895件、8,299人(H29 1,023件、9,183人) ・麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 672件、7,581人(H29 684件、9,387人) ・麻里府公民館 盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 332件、3,776人(H29 318件、3,698人) 公民館使用料合計 2,049千円(H29 2,232円) (経費内訳) 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等		
事 業 の 経 費	19,175千円		
事業の成果と課題	<p>各公民館において、地域の拠点となる行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。公民館の運営については、適切に運営され、利用者も多く生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設的环境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。麻里府公民館は、小学校の廃校に伴い地域の子どもたちとの関わりが希薄になりがちであるが、できるだけ地域と連携を深める活動に努めている。</p> <p>各館とも講座利用者が減少しているため、29年度から公民館講座利用者について、使用料の半額免除制度を導入した。今後は講座内容の見直し等も必要である。</p>		
評 価	A		

No.26

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課																																				
事 業 の 名 称	公民館施設管理事業																																						
事 業 の 概 要	各公民館施設の維持管理を行う。																																						
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">中央公民館</td> <td style="width: 10%;">S43年建築</td> <td style="width: 20%;">RC造2階建</td> <td style="width: 50%;">967.67㎡</td> </tr> <tr> <td>城南公民館</td> <td>S56年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>610.61㎡</td> </tr> <tr> <td>西田布施公民館</td> <td>S61年建築</td> <td>RC造平屋建</td> <td>1,079.09㎡</td> </tr> <tr> <td>東田布施公民館</td> <td>S62年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>613.93㎡</td> </tr> <tr> <td>麻郷公民館</td> <td>S55年建築</td> <td>RC造2階建</td> <td>613.68㎡</td> </tr> <tr> <td>麻里府公民館</td> <td>S52年建築</td> <td>RC造平屋建</td> <td>360.85㎡</td> </tr> <tr> <td>竹尾分館</td> <td>S63年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>176.37㎡</td> </tr> <tr> <td>国木分館</td> <td>H元年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>237.99㎡</td> </tr> <tr> <td>小行司分館</td> <td>H6年建築</td> <td>木造平屋建</td> <td>199.93㎡</td> </tr> </table>			中央公民館	S43年建築	RC造2階建	967.67㎡	城南公民館	S56年建築	RC造2階建	610.61㎡	西田布施公民館	S61年建築	RC造平屋建	1,079.09㎡	東田布施公民館	S62年建築	RC造2階建	613.93㎡	麻郷公民館	S55年建築	RC造2階建	613.68㎡	麻里府公民館	S52年建築	RC造平屋建	360.85㎡	竹尾分館	S63年建築	木造平屋建	176.37㎡	国木分館	H元年建築	木造平屋建	237.99㎡	小行司分館	H6年建築	木造平屋建	199.93㎡
中央公民館	S43年建築	RC造2階建	967.67㎡																																				
城南公民館	S56年建築	RC造2階建	610.61㎡																																				
西田布施公民館	S61年建築	RC造平屋建	1,079.09㎡																																				
東田布施公民館	S62年建築	RC造2階建	613.93㎡																																				
麻郷公民館	S55年建築	RC造2階建	613.68㎡																																				
麻里府公民館	S52年建築	RC造平屋建	360.85㎡																																				
竹尾分館	S63年建築	木造平屋建	176.37㎡																																				
国木分館	H元年建築	木造平屋建	237.99㎡																																				
小行司分館	H6年建築	木造平屋建	199.93㎡																																				

	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断、耐震化工事実施状況 中央、城南、麻郷、麻里府公民館(S56年5月以前建築) 耐震診断実施(H22) (診断結果) 中央、城南、麻郷公民館 耐震無、麻里府公民館 耐震有 城南、麻郷公民館 耐震補強工事完了(H23) (経費内訳) 光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等
事業の経費	23,503千円
事業の成果と課題	<p>施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。 中央公民館は、築後51年が経過しており、建物の老朽化のため、雨漏りを完全に防げず応急措置で対応している。</p> <p>また、耐震化工事は未実施で、耐震診断結果は2階のX方向(東西方向)のみが、Is目標値「0.60」に若干足りない「0.53」となっている。他の公民館についても、施設の老朽化が進んでいるため、公共施設整備計画等の検討が課題となっている。</p>
評価	B

No.27

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	図書館管理運営事業		
事業の概要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、移動図書による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動により読書活動の普及・啓発を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用状況 購入冊数 1,698冊(H29 1,487冊) 蔵書冊数 91,581冊(H29 91,938冊) 貸出冊数 81,575冊(H29 85,178冊) 登録者数 15,054人(H29 14,809人) 利用者数 33,439人(H29 34,315人) 移動図書 8箇所を巡回 5,381人(利用者) 10,119冊(貸出冊数) 読書感想文コンクール 10月27日～11月9日 応募作品1,117点 読書貯金通帳 通帳の配布(4月1日～) 第26回図書館まつり 2月16日 読書感想文コンクール表彰等 542人(参加者数) 読書貯金通帳のグレートリーダーを表彰 各小3名、中1名 クリスマス会 12月22日 「おはなしの会」主催 44人(参加者数) ボランティア「おはなしの会」10回開催 延233人(参加者数) 読書会「七草」10回開催 延54人(参加者数) 朗読ボランティア「もやいの会」22回開催 延93人(参加者数) 点訳ボランティア「ほおずきの会」40回開催 延212人(参加者数) ブックスタート事業 「ブックスタートパック」を贈呈 85人(4ヶ月乳児) (施設) 田布施図書館 H3年建築 RC造2階建 855.23㎡ (施設整備事業)・空調機更新工事(2Fホール) 692千円 		
事業の経費	14,372千円		
事業の成果と課題	<p>図書館の利用実績については、前年度より利用者数が減少している。子どもの読書活動については、第二次子ども読書活動推進計画に基づき、引き続き家庭、地域、学校等の社会全体で計画的に推進していく。</p> <p>読書貯金通帳事業、読書感想文コンクール事業は、学校などと連携し事業促進に努めた。優秀者は、図書館まつりにおいて表彰した。</p> <p>また、課題として情報通信機器の急速な発展に伴い、読書離れが進んでおり、今後も引き続き良書の確保と、資料の収集・整理に努める必要がある。</p>		

	施設管理では、空調機更新が完了した。建築から約30年が経過しており、今後も内装補修など計画的に対応していく。
評価	A

No.28

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	郷土館管理運営事業		
事業の概要	岸信介・佐藤栄作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。		
事業の実績	<p>【郷土館利用状況】 入館者数 1,821人(H29 1,812人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤3兄弟展 長兄 佐藤市郎 元海軍中将展 平成30年5月2日～5月31日 来場212人 次男 岸信介 元宰相展 平成30年7月1日～7月31日 来場129人 三男 佐藤栄作 元宰相展 平成30年9月1日～9月30日 来場163人 ・岸・佐藤兄弟元宰相を中心とした田布施町の明治150年のあゆみ展 平成30年10月2日～11月30日 来場342人 ・おおばのフォトクラブ写真展 平成30年12月4日～12月16日 来場118人 <p>移動郷土館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戎ヶ下ふれあいサロン ・古代から現代までの田布施町 ー戎ヶ下地区の成り立ちー 平成30年5月24日 来場21名 ○新宿井1,2区ふれあいいきいきサロン ・古代から現代までの田布施町 ー宿井地区の成り立ちー 平成30年7月26日 来場25名 ○城南生きがい教室 ・古代から現代までの田布施町 ー城南の成り立ちー 平成30年10月17日 来場27人 ○小行司生き生きサロン ・古代から現代までの田布施町 ー小行司の成り立ちー 平成30年11月1日 来場18人 ○高塔生き生きサロン ・古代から現代までの田布施町 ー高塔地区の成り立ちー 平成30年12月2日 来場26人 ○西田布施公民館 生きがい教室 ・古代から現代までの田布施町 ・神社・仏閣など 平成31年2月18日 来場28人 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他 田布施町郷土館研究紀要(第19号) 8月1日発行 郷土館友の会(ふるさと民話紙芝居作成) 第31作 桃栗三年(諺づくし) 平成30年 4月11日 第32作 徳吉のお稲荷様 平成30年 11月9日 (施設) 田布施町郷土館 RC造2階建 748.00㎡ 土地 1,209.00㎡ NTT-APより賃借(旧電話交換所事務棟) 賃借料 2,052千円
事業の経費	7,773千円
事業の成果と課題	岸、佐藤兄弟宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めているが、入館者数も年々減少傾向にある。今年度は、明治150年記念事業の関係もあり前年より来館者が多かったものの、来館者減少の対策が課題である。 なお館内が手狭なため今年度行った民具等の整理整頓により、展示の幅が生まれ、新たな展示の方向性も出せるようになった。 また、建物は建築・改築から相当の年月が経過しており、設備についても貸借当初(平成元年)設置の冷暖房設備等の老朽化など課題も多い。このため、計画的な対応が必要となる。施設の新築、移転については、現在の契約期間(H28年度～H32年度:5年間)を考慮しながら、今後検討する必要がある。
評価	B

No.29

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	埋蔵文化財調査事業		
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査及び発掘調査を行う。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等を処理する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業(委託金 96.87% 34,195千円) 宿井団地発掘調査事業 18,405千円 麻郷奥団地発掘調査事業 15,789千円 ・単独事業 発掘調査関連事業 12,884千円 		
事業の経費	48,678千円		
事業の成果と課題	国営緊急農地再編整備事業の計画については、残り2遺跡の発掘調査と工事立会が数か所程度残るのみとなった。しかし、平成31年度には事業計画の変更により4団地が新たに増える予定である。これに伴い、増加する予定の団地の試掘調査を実施するなど調査面積の増加の抑制など特別に対応が必要となる。また計画がタイトなスケジュールなので職員の管理を含めて慎重に対応したい。		
評価	B		

No.30

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツ推進体制強化事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人		

	材育成に努める。
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員 町スポーツ推進委員会 2回開催 (スポーツ推進委員 10名) 中国地区スポーツ推進委員研修会(広島市) 6月16, 17日 山口県スポーツ推進委員研修会(萩市・長門市・阿武町)6月2, 3日 老人クラブ連合会レクリエーション大会で指導 10月25日 桜まつりロードレース大会・スポーツまつり・ウォーキング大会・町内一周駅伝大会 等で指導・協力 ・スポーツ推進計画策定委員 田布施町スポーツ推進計画の進捗状況や課題等を踏まえ中間見直しを行い、計画の改定版を策定。 ・スポーツ少年団 町スポ少専門部会 2回開催 県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 8月2日～4日 県スポ少指導者・育成母集団研修会(田布施町) 10月14日 県認定員養成講習会 12月1, 2日
事業の経費	473千円
事業の成果と課題	スポーツ推進委員、スポーツクラブ指導者、スポーツ少年団指導者等が連携し、スポーツ施策の推進に努めている。課題としては、スポーツ推進委員について、委員の高齢化に伴い、今後新たな人材を育成する必要がある。スポーツ少年団については、指導者制度改正に伴い、近隣市町の状況も踏まえながら、町の対応を検討する必要がある。
評価	B

No.31

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	生涯スポーツ推進事業		
事業の概要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとりスポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」(町補助金 350千円) クラブ員数 13団体350人(H29 362人) 会員親睦交流大会 7月7日 約300人(参加者数) ・田布施町スポーツ少年団 (町補助金 350千円) 団員数 11団体、 230人(H29 216人) 結団式 4月29日 230人(参加者数) ・田布施体育協会(町補助金 1, 300千円) 団員数 14団体、約600人 町内一周駅伝競走大会 12月9日 46チーム(H29 46チーム) 「田布施川桜まつりロードレース大会実行委員会」(町観光協会補助) 田布施川桜まつりロードレース大会 平成30年4月7日 959人 平成31年3月30日 882人 「たぶせスポーツまつり実行委員会」(町補助金 400千円) たぶせスポーツまつり 10月14日 約1, 000人(H29 約1, 100人) 		
事業の経費	2, 808千円		

事業の成果と課題	各団体とも自主運営を推進し、イベント等での協力を通じて地域スポーツの活性化に貢献している。 課題としては、もっと各種関係団体相互の交流を図り、連携していく必要がある。		
評価	B		

No.32

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	我がまちスポーツ推進事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 ウォーキング大会 11月24日 約100人(H29 約100人) 魅力再発見ウォーキング 年24回実施 		
事業の経費	— 千円		
事業の成果と課題	<p>スポーツを通じた地域交流の促進・活性化を図るため、令和元年度改訂の「田布施町スポーツ推進計画」において、ウォーキングを「我がまちスポーツ」と位置付け事業の推進に取り組んでいる。</p> <p>具体的にはウォーキングマップを配布し、ウォーキング大会・魅力再発見ウォーキングを実施している。</p> <p>課題としては、ウォーキング人口を増やすため、より魅力的なコースの設定に努めていく必要がある。</p>		
評価	A		

No.33

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツセンター管理運営事業		
事業の概要	施設を安全・快適に利用できるよう、円滑に管理・運営を行う。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用状況 第1体育館 16,581人(H29 16,154人) 第2体育館 24,543人(H29 21,543人) プール 3,719人(H29 3,772人) グラウンド 11,893人(H29 15,305人) 弓道場 4,390人(H29 4,557人) テニス場 2,569人(H29 2,627人) 艇庫 32人(H29 30人) 施設使用料合計 2,782千円(H29 2,989千円) 		
	(施設)		(単位:㎡)
	第1体育館	S57年建築 S造平屋建	728.50
	第2体育館	S58年建築 S造平屋建	1,221.00
	プール上屋	H26年建築 S造平屋建	914.64
	〃 更衣室	S57年建築 RC造平屋建	118.83
	弓道場	S62年建築 木造平屋建	295.64
	艇庫	S58年建築 S造平屋建	447.00
	グラウンドナイター設備	H2年設置 8基	(グラウンド 16,358)

	○施設整備事業(単独事業) (単位:円)	
	夜間照明高圧設備修繕工事	1,944,000
	合 計	1,944,000
事業の経費	22,082千円	
事業の成果と課題	<p>施設の利用人数は、ほぼ横ばいである。平成29年度に第2体育館のバスケットゴールを可動式へ更新したことに伴い、バスケットボール大会の開催が増加している。</p> <p>平成31年4月1日に大晃機械工業株式会社と施設命名権を契約したことに伴い、愛称が「TAIKO スポーツセンター田布施」となった。各施設に新しい看板が設置され雰囲気は変化したが、施設自体は老朽化が進んでおり、今後は命名権料を有効に活用しながら計画的に修繕していく必要がある。</p>	
評 価	B	